

神津島の火山活動解説資料（令和元年5月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

活動概況

- ・噴気など表面現象の状況（図1、図3、図4）
前浜南東監視カメラ（天上山の南西約3km）による観測では、天上山山頂部に噴気は認められません。
14日に実施した現地調査では、天上山山頂周辺では、前回の観測（2016年3月30日）と同様に噴気は見られず、地熱域も認められませんでした。
- ・地震や微動の発生状況（図5 - 、図6）
神津島付近を震源とする火山性地震の発生はなく、地震活動は低調に経過しています。火山性微動は観測されていません。
- ・地殻変動の状況（図2、図5 - ~ ）
GNSS連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。



図1 神津島 天上山山頂部の状況
（5月22日、前浜南東監視カメラによる）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php）でも閲覧することができます。

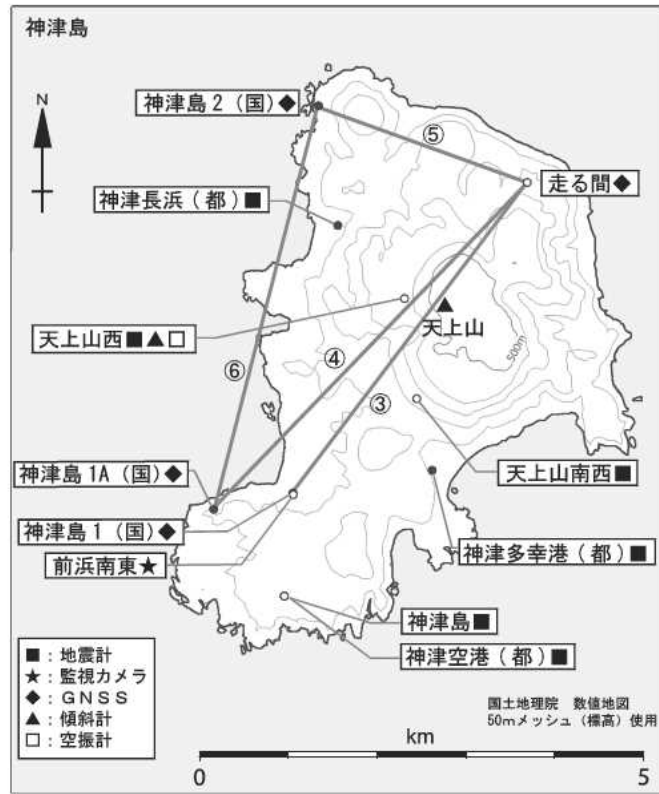
次回の火山活動解説資料（令和元年6月分）は令和元年7月8日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東京大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、東京都及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』『数値地図50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平29情使、第798号）。



小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
 (国)：国土地理院、(都)：東京都

図2 神津島 観測点配置図

GNSS 基線 ~ は図5の ~ に対応しています。
 神津島1 から神津島1A に2014年9月19日移設。

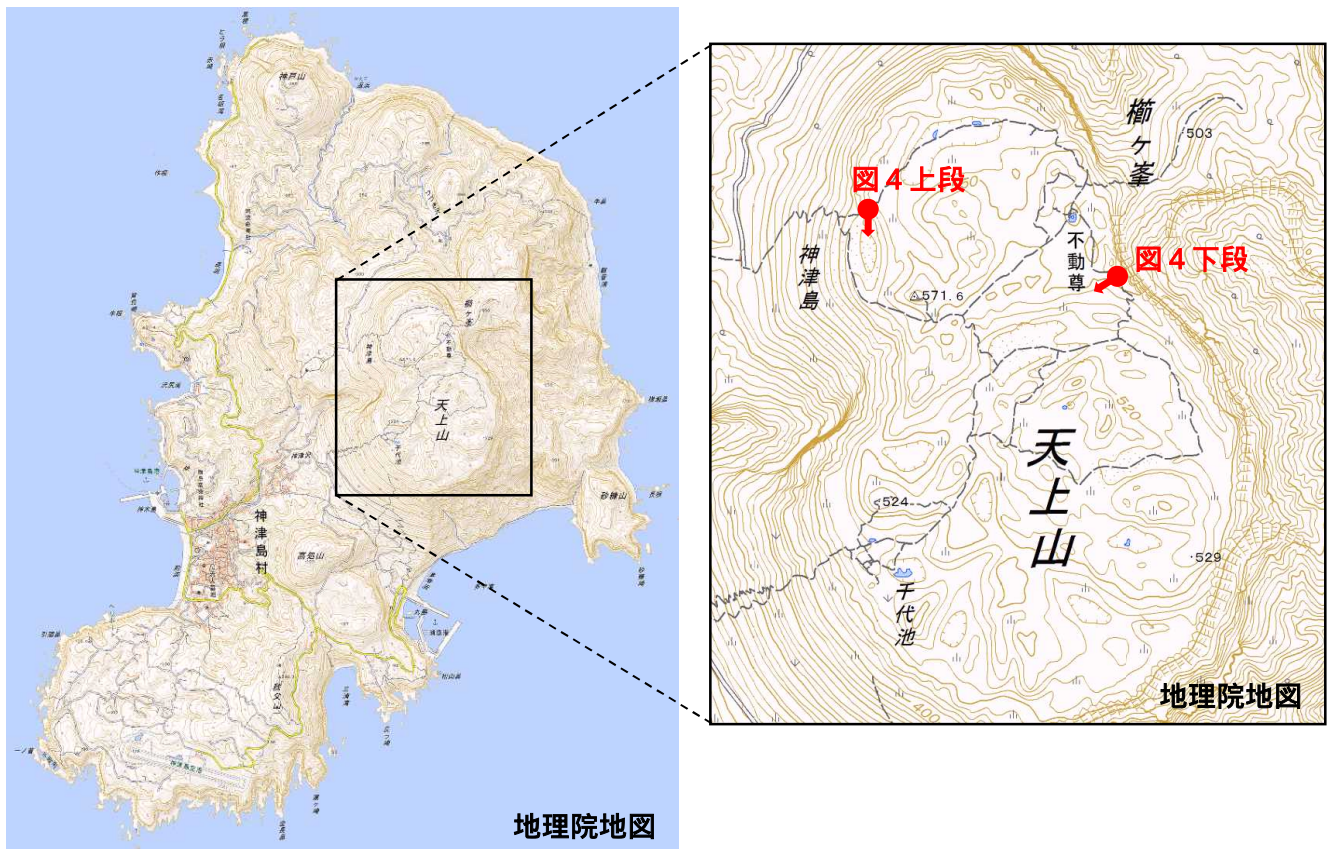


図3 神津島 地図及び観測場所・撮影方向（赤丸・矢印）

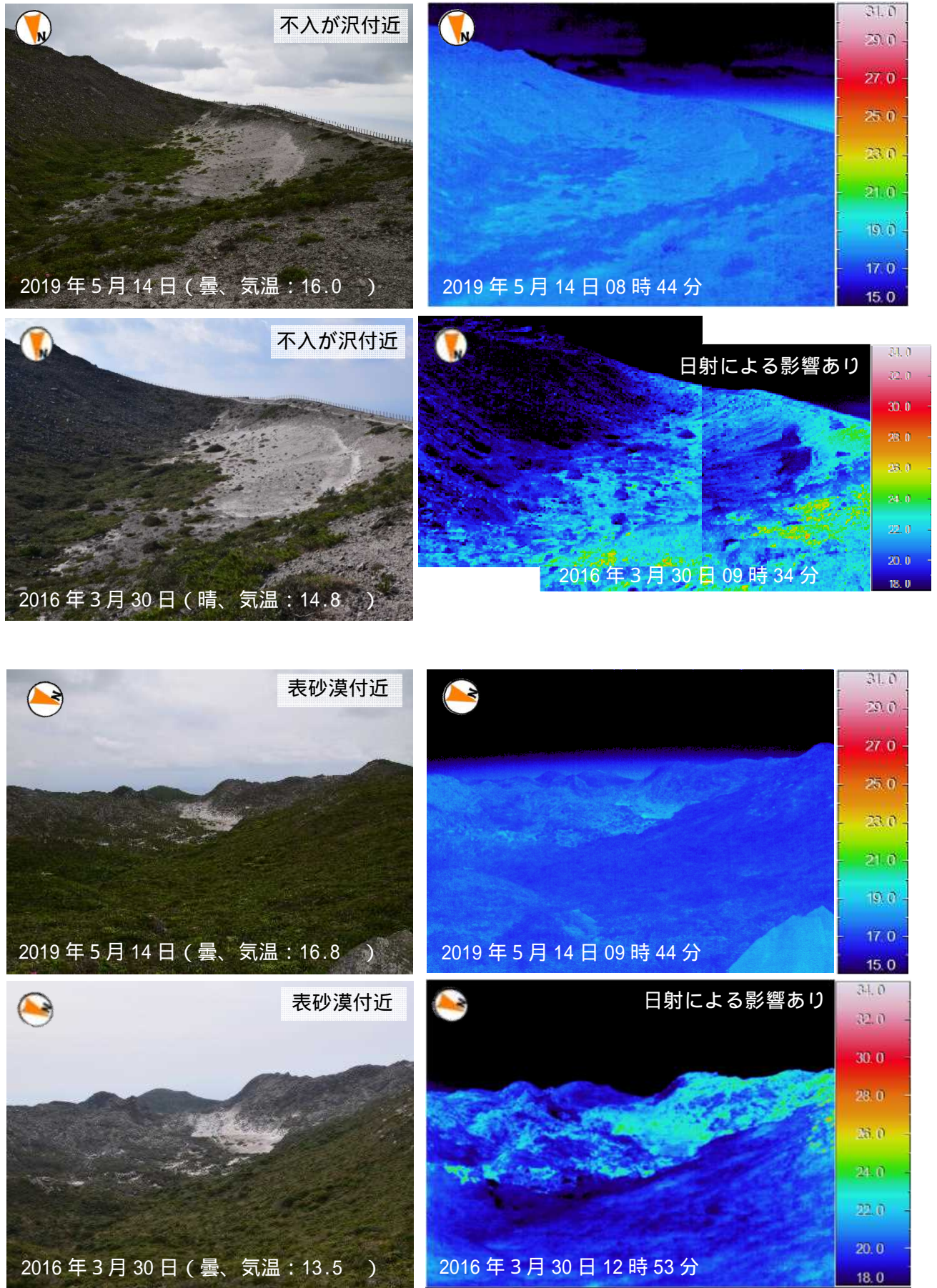


図4 神津島 天上山山頂付近の状況

・14日に実施した現地調査では、天上山山頂付近では前回の観測（2016年3月30日）と同様に噴気は見られず、地熱域も認められませんでした。

【計数基準の変遷】
 A型地震：2010年10月1日（観測開始）～ 天上山西から半径5km、深さ15km以内
 BH型地震：2010年8月2日～2013年9月30日 天上山西振幅0.8 μ m/s以上
 2013年10月1日～ 天上山西振幅4.0 μ m/s以上

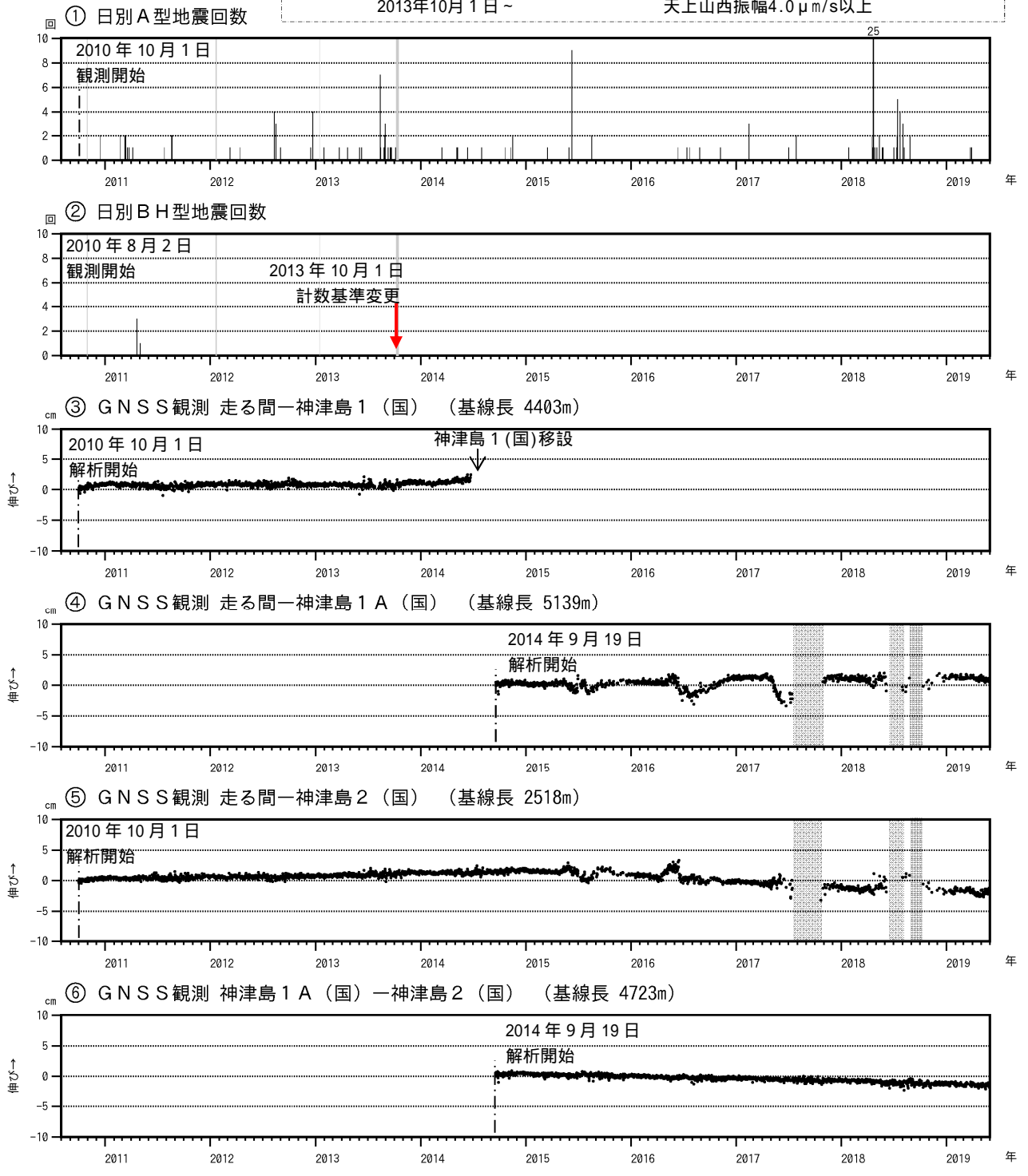


図5 神津島 火山活動経過図(2010年8月2日～2019年5月31日)

図の灰色部分は機器障害による欠測を示します。

～：(国)：国土地理院、～は図2のGNSS基線～に対応しています。

2014年9月19日に、神津島1を神津島1Aに移設しました。

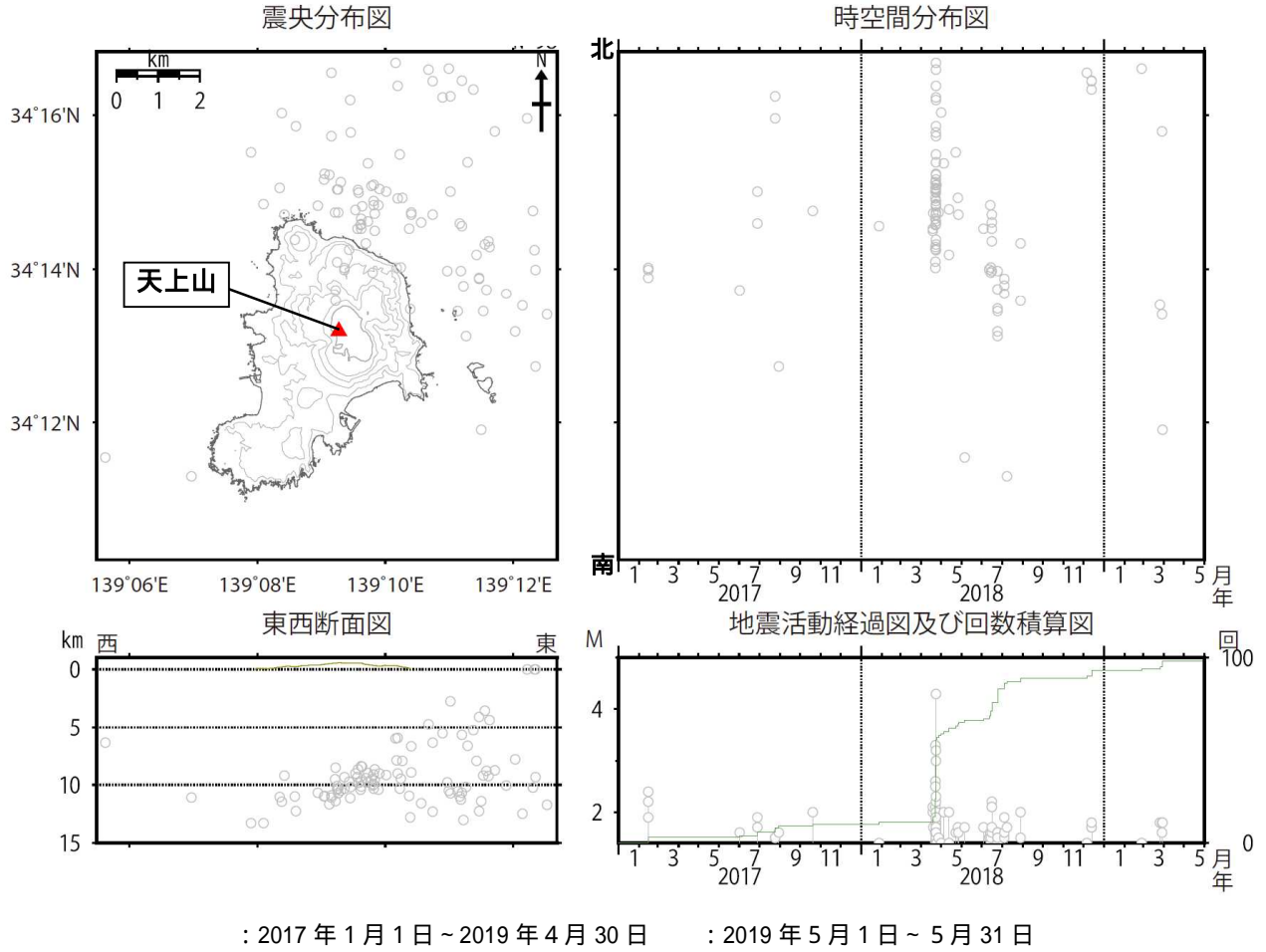


図6 神津島 広域地震観測網による神津島及びその周辺の地震活動
(2017年1月1日～2019年5月31日)

広域地震観測網により震源決定したもので、深さは全て海面以下として決定しています。
M（マグニチュード）は地震の規模を表し、M1.4以上の地震を表示しています。
図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。

- ・今期間、神津島及びその周辺に震源が求まる地震はなく、地震活動は静穏に経過しています。